

2002年10月15日

第四回分科会 資料

三菱商事株式会社

(参考資料) 各 ENUM プレーヤーの役割・課題

0. はじめに

本資料では、日本における検討の叩き台（特に第3章）として頂く為、UKEGにて議論、定義されている ENUM における各プレーヤーの役割及び基本的な課題を紹介致します。

1. Tier 1 Registry

- ・ 自国の e164.arpa の Zone File の維持、更新。
- ・ 個々の電話番号に対する Tier 2 Registry へのポインター保持。

2. Tier 2 Registrar (ENUM Registrar)

- ・ Tier 1 データベースへのエントリーを請け負い、適切な Tier 2 Registry と紐付ける。
- ・ エンドユーザーに、レジストレーション・サービスの課金をする。
(・ Tier 2 Registry 同時のサービス提供もあり得る。)

3. Tier 2 Registry (ENUM DNS Provider)

- ・ DNS ネームサーバーサービスの提供。
- ・ NAPTR レコードの運営、管理。
(・ エンドユーザーに、直接サービスの課金をする事もあり得る。)

4. Authentication Agency

- ・ エンドユーザー（申込者）がデータベースに要求された電話番号を入力する権利を持っているかどうか確認する。
- ・ ENUM データベースが正確であり、且つ、常に最新状態に更新されているかを確認する。

(認証プロセス)

チェック 1：申込者とその電話番号を使う権利を持っているかどうかを確認する。

→Directory Enquiries(DQ) database の利用。

又、DB に登録されていない情報を中心に、電話事業者に情報開示に協力してもらう必要があり。(情報保護及び開示のルール、監視機関の設立、コスト負担の解消等の解決要。)

チェック 2：申込者が権利を持ったその人自身であるかどうかを確認する。(なりすまし防止)

→暗証番号の発行及びオンラインでの最終確認登録。

5. 課題等

(Tier 1 関連)

- ・ Tier 1 Registry は単独か、複数か？

→アーキテクチャ的に、Tier 1 Registry は単独であることが望ましいとされる。

(Tier 2 関連)

- ・ NAPTR レコードを何処に保持すべきか？

→Tier 2 Registry プロバイダーが保持すべきとされる。

- ・ Tier 2 の上記 3 つのプレイヤーを同一の事業者が行なって良いか？

→特に指針無し。

(その他、全般)

- ・ ENUM に関する政策の策定、レビュー、実施、ルール作り等を行なう、Policy Oversight Committee(POC)なる政府機関の設立を提案している。

／以上